

注3 **大学番号：私057**

[平成28年度設置]

計画の区分： 学部の設置  
注1

**認可**

学習院大学 国際社会科学部  
注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人学習院  
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務課

電話番号 03-5992-1191

（夜間） 03-5992-1191

F A X 03-5992-9238

e-mail somu-off@gakushuin.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 国際社会科学部

＜国際社会科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	23
6. 附帯事項等に対する履行状況等	60
7. その他全般的事項	63

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 学習院

## (2) 大学名

学習院大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒171-8588  
東京都豊島区目白1丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナイトウ マサタケ) 内藤 政武 (平成26年10月1日)		
学長	(イノウエ トシカズ) 井上 寿一 (平成26年4月1日)		
学部長	(スエヒロ アキラ) 末廣 昭 (平成28年4月1日)	(イヌイ トモヒコ) 乾 友彦 (平成30年4月1日)	平成30年4月をもって改選した (30)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際社会科学部 国際社会科学科 学士（社会科学）	経済学関係	4年	200人	- 年次人	800人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	200人 [ - ]	1人 [ - ]	200人 [ - ]	1人 [ - ]	200人 [ - ]	1人 [ - ]	200人 [ - ]	1人 [ - ]	1.10倍	1倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	2372 [ - ]	( ) [ - ]	2623 [ - ]	( ) [ - ]	2323 [ - ]	( ) [ - ]	2424 [ - ]	( ) [ - ]			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	2266 [ - ]	( ) [ - ]	2522 [ - ]	( ) [ - ]	2212 [ - ]	( ) [ - ]	2292 [ - ]	( ) [ - ]			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	605 [ - ]	( ) [ - ]	480 [ - ]	( ) [ - ]	451 [ - ]	( ) [ - ]	461 [ - ]	( ) [ - ]			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	237 [ - ]	( ) [ - ]	218 [ - ]	( ) [ - ]	216 [ - ]	( ) [ - ]	213 [ - ]	( ) [ - ]			
入学定員超過率 B/A			1.18		1.09		1.08		1.06				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	237 [1] (-)	- [-] (-)	219 [-] (1)	- [-] (-)	216 [-] (-)	- [-] (-)	216 [ 2 ] (3)	- [-] (-)	
2年次			- [-] (-)	- [-] (-)	234 [1] (-)	- [-] (-)	224 [-] (8)	- [-] (-)	216 [ 1 ] (5)	- [-] (-)	
3年次					- [-] (-)	- [-] (-)	225 [1] (-)	- [-] (-)	222 [-] (11)	- [-] (-)	
4年次							- [-] (-)	- [-] (-)	220 [ 1 ] (-)	- [-] (-)	
計	[ ] ( )		237 [1] ( - )		453 [1] (1)		665 [1] (8)		874 [4] (19)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	237 人	2 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、その他(1人)
平成29年度	453 人	4 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)
			平成29年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人)、その他(1人)
平成30年度	665 人	3 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)
			平成30年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)、就職(1人)
令和元年度	874 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		9 人		9 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)  
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。  
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。  
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{237} = \boxed{0.84} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{453} = \boxed{0.88} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{665} = \boxed{0.45} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{874} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。







科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	キャリア・デザイン概論	1・2・3・4前・後	2								1
	英語で学ぶ日本事情－文化・社会・科学	1・2・3・4後	2								7
	近代日本と学習院	1・2・3・4通	4								2
	スポーツ・健康科学Ⅰ	1・2・3・4通	2								23
	スポーツ・健康科学Ⅲa	1・2・3・4前・後	1								20
	スポーツ・健康科学Ⅲb	1・2・3・4前・後	1								3
	初等情報処理2	1・2・3・4後	2								1
	ドイツ語B(初級)	1・2・3・4通	2								1
	ドイツ語C(初級)	1・2・3・4通	2								1
	ドイツ語R(中級)	1・2・3・4通	2								1
	ドイツ語C(中級)	1・2・3・4通	2								1
	ドイツ語R(上級)	1・2・3・4通	2								1
	ドイツ語C(上級)	1・2・3・4通	2								1
	ドイツ語セミナー	1・2・3・4通	4								1
	フランス語B(初級)	1・2・3・4通	2								1
	フランス語C(初級)	1・2・3・4通	2								1
	フランス語R(中級)	1・2・3・4通	2								1
	フランス語C(中級)	1・2・3・4通	2								1
	フランス語R(上級)	1・2・3・4通	2								1
	フランス語C(上級)	1・2・3・4通	2								1
	フランス語セミナー	1・2・3・4通	4								1
	中国語B(初級)	1・2・3・4通	2								1
	中国語C(初級)	1・2・3・4通	2								2
	中国語R(中級)	1・2・3・4通	2								1
	中国語C(中級)	1・2・3・4通	2								1
	中国語R(上級)	1・2・3・4通	2								1
	中国語C(上級)	1・2・3・4通	2								1
	中国語セミナー	1・2・3・4通	4								1
	ロシア語B(初級)	1・2・3・4通	2								1
	ロシア語C(初級)	1・2・3・4通	2								1
	ロシア語R(中級)	1・2・3・4通	2								1
	ロシア語C(中級)	1・2・3・4通	2								1
	スペイン語B(初級)	1・2・3・4通	2								1
	スペイン語C(初級)	1・2・3・4通	2								1
	スペイン語R(中級)	1・2・3・4通	2								1
	スペイン語C(中級)	1・2・3・4通	2								1
	イタリア語B(初級)	1・2・3・4通	2								1
	イタリア語C(初級)	1・2・3・4通	2								1
	イタリア語R(中級)	1・2・3・4通	2								1
	イタリア語C(中級)	1・2・3・4通	2								1
	朝鮮語B(初級)	1・2・3・4通	2								1
	朝鮮語C(初級)	1・2・3・4通	2								1
	朝鮮語R(中級)	1・2・3・4通	2								1
	朝鮮語C(中級)	1・2・3・4通	2								1
	アラビア語B(初級)	1・2・3・4通	2								1
	アラビア語C(初級)	1・2・3・4通	2								1
	アラビア語R(中級)	1・2・3・4通	2								1
	アラビア語C(中級)	1・2・3・4通	2								1
	日本語C(上級)	1・2・3・4前・後	1								1
	小計(113科目)	-									
	合計(198科目)	-									
卒業要件及び履修方法											
必修科目22単位、選択必修科目74単位以上、選択科目(科目区分毎に上限あり)を合わせて、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限：各学期24単位、各年次48単位)											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	インターンシップと仕事経験	1・2・3・4通	2								1
	国際交流とグローバル市民社会	1・2・3・4後	2								1
	英語で学ぶ日本事情－文化・社会・科学	1・2・3・4後	2								8
	近代日本と学習院	1・2・3・4通	4								2
	スポーツ・健康科学Ⅰ	1・2・3・4通	2								22
	スポーツ・健康科学Ⅲa	1・2・3・4前・後	1								19
	スポーツ・健康科学Ⅲb	1・2・3・4前・後	1								3
	初等情報処理2	1・2・3・4後	2								3
	ドイツ語B(初級)	1・2・3・4通	2								15
	ドイツ語C(初級)	1・2・3・4通	2								21
	ドイツ語R(中級)	1・2・3・4通	2								15
	ドイツ語C(中級)	1・2・3・4通	2								7
	ドイツ語R(上級)	1・2・3・4通	2								1
	ドイツ語C(上級)	1・2・3・4通	2								1
	ドイツ語セミナー	1・2・3・4通	4								1
	フランス語B(初級)	1・2・3・4通	2								15
	フランス語C(初級)	1・2・3・4通	2								19
	フランス語R(中級)	1・2・3・4通	2								13
	フランス語C(中級)	1・2・3・4通	2								9
	フランス語R(上級)	1・2・3・4通	2								1
	フランス語C(上級)	1・2・3・4通	2								1
	フランス語セミナー	1・2・3・4通	4								1
	中国語B(初級)	1・2・3・4通	2								12
	中国語C(初級)	1・2・3・4通	2								16
	中国語R(中級)	1・2・3・4通	2								7
	中国語C(中級)	1・2・3・4通	2								12
	中国語R(上級)	1・2・3・4通	2								1
	中国語C(上級)	1・2・3・4通	2								1
	中国語セミナー	1・2・3・4通	4								1
	ロシア語B(初級)	1・2・3・4通	2								1
	ロシア語C(初級)	1・2・3・4通	2								1
	ロシア語R(中級)	1・2・3・4通	2								1
	ロシア語C(中級)	1・2・3・4通	2								1
	スペイン語B(初級)	1・2・3・4通	2								3
	スペイン語C(初級)	1・2・3・4通	2								2
	スペイン語R(中級)	1・2・3・4通	2								1
	スペイン語C(中級)	1・2・3・4通	2								2
	イタリア語B(初級)	1・2・3・4通	2								3
	イタリア語C(初級)	1・2・3・4通	2								3
	イタリア語R(中級)	1・2・3・4通	2								1
	イタリア語C(中級)	1・2・3・4通	2								2
	朝鮮語B(初級)	1・2・3・4通	2								5
	朝鮮語C(初級)	1・2・3・4通	2								5
	朝鮮語R(中級)	1・2・3・4通	2								1
	朝鮮語C(中級)	1・2・3・4通	2								1
	アラビア語B(初級)	1・2・3・4通	2								1
	アラビア語C(初級)	1・2・3・4通	2								1
	アラビア語R(中級)	1・2・3・4通	2								1
	アラビア語C(中級)	1・2・3・4通	2								1
	日本語C(中級)	1・2・3・4前・後	1								3
	日本語C(上級)	1・2・3・4前・後	1								3
	小計(118科目)	-									
	合計(204科目)	-									
卒業要件及び履修方法											
必修科目22単位、選択必修科目74単位以上、選択科目(科目区分毎に上限あり)を合わせて、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限：各学期24単位、各年次48単位)											





科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
	ドイツ語C(中級)	1・2・3・4通	2							7
	ドイツ語R(上級)	1・2・3・4通	2							1
	ドイツ語C(上級)	1・2・3・4通	2							1
	ドイツ語セミナー	1・2・3・4通	4							1
	フランス語B(初級)	1・2・3・4通	2							15
	フランス語C(初級)	1・2・3・4通	2							19
	フランス語R(中級)	1・2・3・4通	2							13
	フランス語C(中級)	1・2・3・4通	2							9
	フランス語R(上級)	1・2・3・4通	2							1
	フランス語C(上級)	1・2・3・4通	2							1
	フランス語セミナー	1・2・3・4通	4							1
	中国語B(初級)	1・2・3・4通	2							14
	中国語C(初級)	1・2・3・4通	2							16
	中国語R(中級)	1・2・3・4通	2							8
	中国語C(中級)	1・2・3・4通	2							11
	中国語R(上級)	1・2・3・4通	2							1
	中国語C(上級)	1・2・3・4通	2							1
	中国語セミナー	1・2・3・4通	4							1
	ロシア語B(初級)	1・2・3・4通	2							1
	ロシア語C(初級)	1・2・3・4通	2							1
	ロシア語R(中級)	1・2・3・4通	2							1
	ロシア語C(中級)	1・2・3・4通	2							1
	スペイン語B(初級)	1・2・3・4通	2							3
	スペイン語C(初級)	1・2・3・4通	2							2
	スペイン語R(中級)	1・2・3・4通	2							1
	スペイン語C(中級)	1・2・3・4通	2							2
	イタリア語B(初級)	1・2・3・4通	2							3
	イタリア語C(初級)	1・2・3・4通	2							3
	イタリア語R(中級)	1・2・3・4通	2							1
	イタリア語C(中級)	1・2・3・4通	2							2
	朝鮮語B(初級)	1・2・3・4通	2							4
	朝鮮語C(初級)	1・2・3・4通	2							4
	朝鮮語R(中級)	1・2・3・4通	2							1
	朝鮮語C(中級)	1・2・3・4通	2							1
	アラビア語B(初級)	1・2・3・4通	2							1
	アラビア語C(初級)	1・2・3・4通	2							1
	アラビア語R(中級)	1・2・3・4通	2							1
	アラビア語C(中級)	1・2・3・4通	2							1
	日本語C(中級)	1・2・3・4前・後	1							3
	日本語C(上級)	1・2・3・4前・後	1							3
	小計(119科目)	-								
	合計(204科目)	-								
卒業要件及び履修方法										
必修科目22単位、選択必修科目74単位以上、選択科目(科目区分毎に上限あり)を合わせて、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:各学期24単位、各年次48単位)										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
	ドイツ語C(中級)	1・2・3・4通	2							7
	ドイツ語R(上級)	1・2・3・4通	2							1
	ドイツ語C(上級)	1・2・3・4通	2							1
	ドイツ語セミナー	1・2・3・4通	4							1
	フランス語B(初級)	1・2・3・4通	2							16
	フランス語C(初級)	1・2・3・4通	2							22
	フランス語R(中級)	1・2・3・4通	2							13
	フランス語C(中級)	1・2・3・4通	2							9
	フランス語R(上級)	1・2・3・4通	2							1
	フランス語C(上級)	1・2・3・4通	2							1
	フランス語セミナー	1・2・3・4通	4							1
	中国語B(初級)	1・2・3・4通	2							13
	中国語C(初級)	1・2・3・4通	2							16
	中国語R(中級)	1・2・3・4通	2							8
	中国語C(中級)	1・2・3・4通	2							11
	中国語R(上級)	1・2・3・4通	2							1
	中国語C(上級)	1・2・3・4通	2							1
	中国語セミナー	1・2・3・4通	4							1
	ロシア語B(初級)	1・2・3・4通	2							1
	ロシア語C(初級)	1・2・3・4通	2							1
	ロシア語R(中級)	1・2・3・4通	2							1
	ロシア語C(中級)	1・2・3・4通	2							1
	スペイン語B(初級)	1・2・3・4通	2							3
	スペイン語C(初級)	1・2・3・4通	2							2
	スペイン語R(中級)	1・2・3・4通	2							1
	スペイン語C(中級)	1・2・3・4通	2							2
	イタリア語B(初級)	1・2・3・4通	2							3
	イタリア語C(初級)	1・2・3・4通	2							3
	イタリア語R(中級)	1・2・3・4通	2							1
	イタリア語C(中級)	1・2・3・4通	2							2
	朝鮮語B(初級)	1・2・3・4通	2							4
	朝鮮語C(初級)	1・2・3・4通	2							4
	朝鮮語R(中級)	1・2・3・4通	2							1
	朝鮮語C(中級)	1・2・3・4通	2							1
	アラビア語B(初級)	1・2・3・4通	2							1
	アラビア語C(初級)	1・2・3・4通	2							1
	アラビア語R(中級)	1・2・3・4通	2							1
	アラビア語C(中級)	1・2・3・4通	2							1
	日本語C(中級)	1・2・3・4前・後	1							3
	日本語C(上級)	1・2・3・4前・後	1							3
	小計(115科目)	-								
	合計(200科目)	-								
卒業要件及び履修方法										
必修科目22単位、選択必修科目74単位以上、選択科目(科目区分毎に上限あり)を合わせて、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:各学期24単位、各年次48単位)										

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
必修科目	英語科目	English Communication I	1前・後	2			1					5	
		Academic Skills I	1前・後	2			1					5	
		Presentation I	1前	1			3					2	
		Self-Directed Learning I	1前	1			1					4	
		English Communication II	1前・後	2				1				5	
		Academic Skills II	1前・後	2			1					5	
		Presentation II	1後	1			3					2	
		Self-Directed Learning II	1後	1			1					4	
		Economics in the World	2前	1			2					4	
		Issues in the World	2前	1				1				4	
	海外研修科目	海外研修 I	1前	1			2						
		海外研修 II	1後・2・3前・後	1			2						
	専門科目	入門演習 I	1前	2			8	5				1	
		入門演習 II	1後	2			8	5				1	
	総合基礎科目	初等情報処理1	1前	2								3	
小計(15科目)		-											
選択必修科目	英語科目	Globalization and Business	2後	1		1					2		
		Peace and Conflict	2後	1							2		
		Advertising and the Media	2後	1		1					1		
		Social Diversity	2後	1							2		
		Global Challenges	2後	1				1			1		
	専門科目	国際ビジネスのための法学	1前	2			1						
		開発と環境の地理学	1前	2			1						
		社会学	1前	2				1					
		中国経済論	1後	2				1					
		アジア経済論	1後	2			1						
		国際開発論	1前	2				1					
		ミクロ経済学	1前	2			1						
		社会科学のためのデータ分析	1後	2			1						
		マクロ経済学	1後	2			1						
		グローバル経済論	1前	2			1						
		マネジメント論	1後	2			1						
		会計学	1後	2				1					
		マーケティング	1前	2			1						
		簿記	1後	2								1	
		統計学	1前	2								1	
		社会科学のための数学	1前	2								1	
		経営戦略	1前	2								1	
		世界の宗教文化	1後	2								1	
		2000	国際企業法	2前	2			1					
			世界の貧困問題	2後	2			1					
			計量社会学	2前	2				1				
			中国社会の経済分析	2前	2				1				
			地域研究の手法	2前	2			1					
			アフリカ経済論	2前	2				1				
			国際貿易論	2後	2			1					
			経済成長論	2前	2			1					
			国際金融論	2前	2			1					
			経済政策論	2前	2			1					
			組織行動論	2前	2			1					
			国際会計論	2前	2				1				
	マーケティングと消費者行動		2前	2			1						
	ゲーム理論		2前	2								1	
	Law and Economics		2後	2				1					
	Sustainable Development		2前	2			1						
	Sociology of Population		2後	2				1					
	Modern Chinese Economy		2後	2				1					
	Emerging Asian Economy and Society		2後	2			1						
	Economic Development		2後	2				1					
	International Economics	2前	2			1							
	Productivity and Efficiency Analysis	2後	2			1							
International Finance: Theory	2後	2			1								
Japanese Economy	2後	2			1								
Cross-Cultural Organizational Behavior	2後	2			1								
Financial Accounting	2後	2				1							
Marketing Strategy	2後	2			1								
3000	Corporate Finance and Law	3・4後	2			1							
	Case Study Methods	3・4後	2			1							
	International Migration	3・4後	2				1						
	China's Economic Sustainability and Social Issues	3・4前	2				1						
	Politics and Economy in Southeast Asia	3・4前	2			1							
	Education and Economic Development in Africa	3・4後	2				1						
	Current Economic Issues in the Global Economy	3・4後	2			1							
	Globalization, Economic Growth and Income Distribution	3・4前	2			1							
	International Finance: Policy	3・4前	2			1							
	International Business	3・4後	2			1							
	International Human Resource Management	3・4前	2			1							
	Cost Accounting	3・4後	2				1						
	Marketing Strategy and Consumer Research in International Markets	3・4後	2			1							
	Asian Business Law	3・4後	2								1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
	International Comparison of Law and Society	3・4前		2						1
	International Trade Law	3・4後		2						1
	Intellectual Property Rights in the Global Market	3・4前		2						1
	Game Theory and Negotiation	3・4後		2						1
	専門演習Ⅰ	3前				8	5			
	専門演習Ⅱ	3後				8	5			
400	卒業論文・卒業演習	4通		4		8	5			
	小計(71科目)	-								
英語科目	Theme-Based Discussions : The Economy	2・3前・後		1		1				1
	Theme-Based Discussions : Law and Society	2・3前・後		1						1
	Theme-Based Discussions : Business	2・3前・後		1						2
	Theme-Based Discussions : International Relations	2・3前・後		1						2
	Group Project	2・3前・後		1		1				2
	Business Communication	2・3前・後		1						2
	Critical Reading	2・3前・後		1						1
	Advanced Academic Writing	2・3前・後		1						1
	Oral Fluency	2・3前・後		1		1	1			2
	300	Area Studies	3・4前・後		2			1		
	Independent Studies	4前・後		2		1				
総合基礎科目	哲学	1・2・3・4通		4						3
	美とロゴス	1・2・3・4前		2						9
	論理学	1・2・3・4通		4						1
	西洋倫理学史	1・2・3・4通		4						1
	東アジアと日本の倫理思想	1・2・3・4通		4						2
	現代思想	1・2・3・4通		4						1
	科学の考え方	1・2・3・4通		4						1
	思想史	1・2・3・4通		4						1
	応用倫理学	1・2・3・4通		4						1
	中国の思想と文化	1・2・3・4通		4						1
	言語と文化	1・2・3・4通		4						2
	比較文学	1・2・3・4通		4						1
	芸術学	1・2・3・4通		4						1
	舞台・映像芸術	1・2・3・4通		4						22
	日本美術史	1・2・3・4通		4						2
	西洋美術史	1・2・3・4通		4						1
	音楽史	1・2・3・4通		4						2
	日本の伝統芸能	1・2・3・4通		4						23
	法学	1・2・3・4通		4						1
	日本国憲法	1・2・3・4前・後		2						1
	政治学	1・2・3・4通		4						1
	社会学	1・2・3・4通		4						1
	金融リテラシーとキャリアデザイン	1・2・3・4通		4						1
	イスラム世界	1・2・3・4通		4						1
	ヨーロッパ世界	1・2・3・4通		4						2
	東アジア世界	1・2・3・4通		4						1
	南アジア世界	1・2・3・4通		4						1
	神話学講義	2・3・4通		4						1
	歴史に見る日本	1・2・3・4通		4						2
	歴史に見る世界	1・2・3・4通		4						2
	宗教の現在	1・2・3・4通		4						10
	現代科学	1・2・3・4通		4						27
	数学	1・2・3・4通		4						1
	歴史の中の数学(未開講)	1・2・3・4通		4						1
	時間・空間・物質の科学	1・2・3・4通		4						1
	環境・エネルギーの化学	1・2・3・4通		4						1
	生物学1	1・2・3・4前		2						1
	生物学2	1・2・3・4後		2						1
	心理学	1・2・3・4通		4						5
	スポーツと健康を考える	1・2・3・4通		4						3
	スポーツ科学演習	1・2・3・4通		4						1
	生命論	1・2・3・4通		4						2
	エコロジー(環境問題の基礎)	1・2・3・4前		2						1
	エコロジー(環境問題とエネルギー)	1・2・3・4後		2						4
	福祉	1・2・3・4通		4						10
	ボランティア論	1・2・3・4通		4						11
	ジェンダーと文化	1・2・3・4通		4						1
	記録保存と現代	1・2・3・4通		4						19
	記録管理と組織	1・2・3・4後		2						4
	生活と法	1・2・3・4前		2						1
生命社会学	1・2・3・4前		2						1	
アジアを学ぶ	1・2・3・4前		2						2	
日本語表現法	1・2・3・4前・後		2						4	
キャリア・デザインⅠ	1・2・3・4前・後		2						2	
キャリア・デザインⅡ	1・2・3・4前・後		2						2	
キャリア・デザインⅢ	1・2・3・4前・後		2						2	
インターンシップと仕事経験	1・2・3・4通		2						1	
英語で学ぶ日本事情－文化・社会・科学	1・2・3・4後		2						7	
近代日本と学習院	1・2・3・4通		4						2	
スポーツ・健康科学Ⅰ	1・2・3・4通		2						22	
スポーツ・健康科学Ⅲa	1・2・3・4前・後		1						18	
スポーツ・健康科学Ⅲb	1・2・3・4前・後		1						3	
初等情報処理2	1・2・3・4後		2						3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
	ドイツ語B(初級)	1・2・3・4通		2							14
	ドイツ語C(初級)	1・2・3・4通		2							18
	ドイツ語R(中級)	1・2・3・4通		2							15
	ドイツ語C(中級)	1・2・3・4通		2							7
	ドイツ語R(上級)	1・2・3・4通		2							1
	ドイツ語C(上級)	1・2・3・4通		2							1
	ドイツ語セミナー	1・2・3・4通		4							1
	フランス語B(初級)	1・2・3・4通		2							13
	フランス語C(初級)	1・2・3・4通		2							17
	フランス語R(中級)	1・2・3・4通		2							14
	フランス語C(中級)	1・2・3・4通		2							8
	フランス語R(上級)	1・2・3・4通		2							1
	フランス語C(上級)	1・2・3・4通		2							1
	フランス語セミナー	1・2・3・4通		4							1
	中国語B(初級)	1・2・3・4通		2							11
	中国語C(初級)	1・2・3・4通		2							15
	中国語R(中級)	1・2・3・4通		2							7
	中国語C(中級)	1・2・3・4通		2							11
	中国語R(上級)	1・2・3・4通		2							1
	中国語C(上級)	1・2・3・4通		2							1
	中国語セミナー	1・2・3・4通		4							1
	ロシア語B(初級)	1・2・3・4通		2							1
	ロシア語C(初級)	1・2・3・4通		2							1
	ロシア語R(中級)	1・2・3・4通		2							1
	ロシア語C(中級)	1・2・3・4通		2							1
	スペイン語B(初級)	1・2・3・4通		2							3
	スペイン語C(初級)	1・2・3・4通		2							2
	スペイン語R(中級)	1・2・3・4通		2							1
	スペイン語C(中級)	1・2・3・4通		2							2
	イタリア語B(初級)	1・2・3・4通		2							3
	イタリア語C(初級)	1・2・3・4通		2							3
	イタリア語R(中級)	1・2・3・4通		2							1
	イタリア語C(中級)	1・2・3・4通		2							2
	朝鮮語B(初級)	1・2・3・4通		2							4
	朝鮮語C(初級)	1・2・3・4通		2							4
	朝鮮語R(中級)	1・2・3・4通		2							1
	朝鮮語C(中級)	1・2・3・4通		2							1
	アラビア語B(初級)	1・2・3・4通		2							1
	アラビア語C(初級)	1・2・3・4通		2							1
	アラビア語R(中級)	1・2・3・4通		2							1
	アラビア語C(中級)	1・2・3・4通		2							1
	日本語C(中級)	1・2・3・4前・後		1							3
	日本語C(上級)	1・2・3・4前・後		1							3
	小計(117科目)	-									
	合計(203科目)	-									
卒業要件及び履修方法											
必修科目22単位、選択必修科目74単位以上、選択科目(科目区分毎に上限あり)を合わせて、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限：各学期24単位、各年次48単位)											

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
  - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- カリキュラムの見直しにより、「English Communication I」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。
- カリキュラムの見直しにより、「Academic Skills I」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「Academic Skills I」の専任教員等の配置を「教授3、兼任・兼任4」から「教授1、兼任・兼任5」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「Self-Directed Learning I」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1、兼任・兼任2」から「教授1、准教授0、兼任・兼任4」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「Academic Skills II」の専任教員等の配置を「教授3、兼任・兼任4」から「教授1、兼任・兼任5」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「Self-Directed Learning II」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1、兼任・兼任2」から「教授1、准教授0、兼任・兼任4」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「初等情報処理」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- カリキュラムの見直しにより、「統計学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「哲学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「美とロコス」の専任教員等の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任9」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「言語と文化」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- カリキュラム充実のため、「芸術学」を新規追加。
- 担当教員の見直しにより、「舞台・映像芸術」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任11」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「日本の伝統芸能」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「日本の伝統芸能」の専任教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任24」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「東アジア世界」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任6」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「宗教の現在」の専任教員等の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任9」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「心理学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」に変更。
- カリキュラム充実のため、「エコロジー（環境問題とエネルギー）」を新規追加。
- 担当教員の見直しにより、「福祉」の専任教員等の配置を「兼任・兼任12」から「兼任・兼任11」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「記録保存と現代」の専任教員等の配置を「兼任・兼任20」から「兼任・兼任18」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「日本語表現法」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」に変更。
- カリキュラム充実のため、「キャリア・デザインI」を新規追加。
- カリキュラム充実のため、「キャリア・デザインII」を新規追加。
- カリキュラム充実のため、「キャリア・デザインIII」を新規追加。
- カリキュラム充実のため、「インターンシップと仕事経験」を新規追加。
- 担当教員の見直しにより、「英語で学ぶ日本事情—文化・社会・科学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任8」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「スポーツ・健康科学I」の専任教員等の配置を「兼任・兼任23」から「兼任・兼任22」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「スポーツ・健康科学IIIa」の専任教員等の配置を「兼任・兼任20」から「兼任・兼任19」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「初等情報処理2」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「ドイツ語B（初級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任14」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「ドイツ語C（初級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任19」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「ドイツ語R（中級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任15」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「ドイツ語C（中級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任7」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「フランス語B（初級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任15」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「フランス語C（初級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任19」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「フランス語R（中級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任13」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「フランス語C（中級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任9」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「中国語B（初級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任14」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「中国語C（初級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任16」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「中国語R（中級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任8」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「中国語C（中級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任11」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「スペイン語B（初級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「スペイン語C（初級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「スペイン語C（中級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「イタリア語B（初級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「イタリア語C（初級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「イタリア語C（中級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「朝鮮語B（初級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任4」に変更。
- 開講クラス数の追加により、「朝鮮語C（初級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任4」に変更。
- カリキュラム充実のため、「日本語C（中級）」を新規追加。
- 開講クラス数の追加により、「日本語C（上級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。

【平成29年度】

- 担当教員の見直しにより、「Academic Skills I」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任6」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「Presentation I」の専任教員等の配置を「教授4、准教授1」から「教授3、准教授0」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「Academic Skills II」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任6」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「Presentation II」の専任教員等の配置を「教授4、准教授1」から「教授3、准教授0」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「Economics in the World」の専任教員等の配置を「教授2、兼任・兼任5」から「教授1、兼任・兼任4」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「Issues in the World」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「Globalization and Business」の専任教員等の配置を「教授1、兼任・兼任3」から「教授0、兼任・兼任2」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「Peace and Conflict」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授0」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「Social Diversity」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「Theme-Based Discussions : The Economy」の専任教員等の配置を「教授1、兼任・兼任2」から「教授0、兼任・兼任1」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「Theme-Based Discussions : Business」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「Theme-Based Discussions : International Relations」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- カリキュラムの見直しにより、「Group Project」の配当年次を「2・3前・後」から「2・3前」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「Group Project」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「Business Communication」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「Critical Reading」の専任教員等の配置を「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- カリキュラムの見直しにより、「Advanced Academic Writing」の配当年次を「2・3前・後」から「2・3後」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「Advanced Academic Writing」の専任教員等の配置を「教授1、兼任・兼任0」から「教授0、兼任・兼任1」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「Oral Fluency」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授0、准教授0」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「東アジアと日本の倫理思想」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「舞台・映像芸術」の専任教員等の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任11」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「日本の伝統芸能」の専任教員等の配置を「兼任・兼任24」から「兼任・兼任27」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「東アジア世界」の専任教員等の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任7」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「福祉」の専任教員等の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任10」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「記録保存と現代」の専任教員等の配置を「兼任・兼任18」から「兼任・兼任19」に変更。
- カリキュラムの見直しにより、「記録管理と組織」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「英語で学ぶ日本事情—文化・社会・科学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任7」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「スポーツ・健康科学I」の専任教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任21」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「スポーツ・健康科学IIIa」の専任教員等の配置を「兼任・兼任19」から「兼任・兼任18」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「ドイツ語B（初級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任14」から「兼任・兼任15」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「ドイツ語C（初級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任19」から「兼任・兼任18」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「フランス語B（初級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任15」から「兼任・兼任16」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「フランス語C（初級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任19」から「兼任・兼任22」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「中国語B（初級）」の専任教員等の配置を「兼任・兼任14」から「兼任・兼任13」に変更。

【平成30年度】

- 担当教員の見直しにより、「Academic Skills I」の専任教員等の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任5」に変更。
- カリキュラムの見直しにより、「English Communication II」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
- カリキュラムの見直しにより、「Academic Skills II」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「Academic Skills II」の専任教員等の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任5」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「Economics in the World」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- 職位の変更（准教授から教授に変更）により、「入門演習I」の専任教員等の配置を「教授6、准教授7」から「教授8、准教授5」に変更。
- 職位の変更（准教授から教授に変更）により、「入門演習II」の専任教員等の配置を「教授6、准教授7」から「教授8、准教授5」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「Globalization and Business」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- 担当教員の見直しにより、「Social Diversity」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- 職位の変更（准教授から教授に変更）により、「マクロ経済学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- 職位の変更（准教授から教授に変更）により、「マネジメント論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- 職位の変更（准教授から教授に変更）により、「国際金融論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- 職位の変更（准教授から教授に変更）により、「組織行動論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。



- ・ 職位の変更(准教授から教授に変更)により、「International Finance: Theory」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ 職位の変更(准教授から教授に変更)により、「Cross-Cultural Organizational Behavior」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ カリキュラムの見直しにより、「Case Study Methods」の配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。
- ・ カリキュラムの見直しにより、「International Migration」の配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。
- ・ カリキュラムの見直しにより、「China's Economic Sustainability and Social Issues」の配当年次を「3・4後」から「3・4前」に変更。
- ・ カリキュラムの見直しにより、「Current Economic Issues in the Global Economy」の配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。
- ・ 職位の変更(准教授から教授に変更)により、「International Finance: Policy」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ 職位の変更(准教授から教授に変更)により、「International Human Resource Management」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ カリキュラムの見直しにより、「Asian Business Law」の配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「International Comparison of Law and Society」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ カリキュラム充実のため、「Intellectual Property Rights in the Global Market」を新規追加。
- ・ 職位の変更(准教授から教授に変更)により、「専門演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授6、准教授7」から「教授8、准教授5」に変更。
- ・ 職位の変更(准教授から教授に変更)により、「専門演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授6、准教授7」から「教授8、准教授5」に変更。
- ・ 職位の変更(准教授から教授に変更)により、「卒業論文・卒業演習」の専任教員等の配置を「教授6、准教授7」から「教授8、准教授5」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「Theme-Based Discussions: The Economy」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「Theme-Based Discussions: Business」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「Theme-Based Discussions: International Relations」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「Group Project」の専任教員等の配置を「教授0、兼任・兼任1」から「教授1、兼任・兼任2」に変更。
- ・ カリキュラムの見直しにより、「Group Project」の配当年次を「2・3前」から「2・3前・後」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「Business Communication」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ カリキュラムの見直しにより、「Advanced Academic Writing」の配当年次を「2・3後」から「2・3前・後」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「Oral Fluency」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 適切な後任者確保により、「中国の思想と文化」を再開講。
- ・ 適切な後任者確保により、「芸術学」を再開講。
- ・ 担当教員の見直しにより、「舞台・映像芸術」の専任教員等の配置を「兼任・兼任16」から「兼任・兼任22」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「日本美術史」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「日本の伝統芸能」の専任教員等の配置を「兼任・兼任27」から「兼任・兼任23」に変更。
- ・ カリキュラム充実のため、「金融リテラシーとキャリアデザイン」を新規追加。
- ・ 担当教員の見直しにより、「東アジア世界」の専任教員等の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「宗教の現在」の専任教員等の配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「現代科学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任28」から「兼任・兼任27」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「エコロジー(環境問題とエネルギー)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「ポランティア論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任11」に変更。
- ・ 適切な後任者確保により、「ジェンダーと文化」を再開講。
- ・ カリキュラムの見直しにより、「記録管理と組織」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・ カリキュラム充実のため、「生命社会学」を新規追加。
- ・ 担当教員の見直しにより、「日本語表現法」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「スポーツ・健康科学Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任21」から「兼任・兼任22」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「ドイツ語B(初級)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任15」から「兼任・兼任14」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「フランス語B(初級)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任16」から「兼任・兼任13」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「フランス語C(初級)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任17」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「フランス語R(中級)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任13」から「兼任・兼任14」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「フランス語C(中級)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「中国語B(初級)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任13」から「兼任・兼任11」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「中国語C(初級)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任16」から「兼任・兼任15」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「中国語R(中級)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任7」に変更。

【令和元年度】

- ・ 担当教員の見直しにより、「Self-Directed LearningⅠ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「Self-Directed LearningⅡ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「Economics in the World」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ カリキュラムの見直しにより、「海外研修Ⅱ」の配当年次を「1後・2・3前・後」から「1後・2・3・4前・後」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「Globalization and Business」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「Peace and Conflict」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・ カリキュラムの見直しにより、「経営戦略」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「Theme-Based Discussions: International Relations」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「Group Project」の専任教員等の配置を「教授1、兼任・兼任2」から「教授0、兼任・兼任3」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「Business Communication」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「Oral Fluency」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・ カリキュラムの見直しにより、「Independent Studies」の配当年次を「4前・後」から「4前」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「美とロゴス」の専任教員等の配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「東アジアと日本の倫理思想」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「舞台・映像芸術」の専任教員等の配置を「兼任・兼任22」から「兼任・兼任34」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「西洋美術史」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「日本の伝統芸能」の専任教員等の配置を「兼任・兼任23」から「兼任・兼任24」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「東アジア世界」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「歴史に見る日本」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「宗教の現在」の専任教員等の配置を「兼任・兼任10」から「兼任・兼任11」に変更。
- ・ カリキュラムの見直しにより、「エコロジー(環境問題の基礎)」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・ カリキュラムの見直しにより、「エコロジー(環境問題とエネルギー)」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「エコロジー(環境問題とエネルギー)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「ポランティア論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「記録保存と現代」の専任教員等の配置を「兼任・兼任19」から「兼任・兼任20」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「生命社会学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任11」に変更。
- ・ カリキュラム充実のため、「国際交流とグローバル市民社会」を新規追加。
- ・ 担当教員の見直しにより、「英語で学ぶ日本事情—文化・社会・科学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「スポーツ・健康科学Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任18」から「兼任・兼任19」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「ドイツ語B(初級)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任14」から「兼任・兼任15」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「ドイツ語C(初級)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任18」から「兼任・兼任21」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「フランス語B(初級)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任13」から「兼任・兼任15」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「フランス語C(初級)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任17」から「兼任・兼任19」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「フランス語R(中級)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任14」から「兼任・兼任13」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「フランス語C(中級)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「中国語B(初級)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任12」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「中国語C(初級)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任15」から「兼任・兼任16」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「中国語C(中級)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任12」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「朝鮮語B(初級)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「朝鮮語C(初級)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
15 科目	183 科目	0 科目	198 科目	15 科目	189 科目	0 科目	204 科目	
				[0]	[6]	[0]	[6]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	歴史の中の数学	4	1・2・3・4通	一般	選択	授業担当者の退職に伴い、適切な後任者確保が困難な為。代替措置なし。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	キャリア・デザイン概論	2	1・2・3・4前・後	一般	選択	従来の内容をさらに拡充させるための科目体系見直しに伴い廃止。その後継科目として、「キャリア・デザインⅠ」「キャリア・デザインⅡ」「キャリア・デザインⅢ」を新規に設置。
2	エコロジー・環境論1	2	1・2・3・4後	一般	選択	授業担当者の退職に伴い、適切な後任者確保が困難な為。代替措置なし。
3	エコロジー・環境論2	2	1・2・3・4後	一般	選択	授業担当者の退職に伴い、適切な後任者確保が困難な為。代替措置なし。
4	現代社会と数学	2	1・2・3・4前	一般	選択	授業担当者の退職に伴い、適切な後任者確保が困難な為。代替措置なし。
5	社会の中の数学	2	1・2・3・4後	一般	選択	授業担当者の退職に伴い、適切な後任者確保が困難な為。代替措置なし。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「歴史の中の数学」（4単位数科目）の平成31年度休講は、授業担当者の退職に伴うもので、適切な後任者確保が困難であることから、基礎教養科目運営委員会で審議の上、決定された。当該科目の担当教員として適任な者の採用を検討中であるが、基礎教養科目全体として偏りのない科目を開講していることから、休講の影響は軽微であると考えられる。履修可能な基礎教養科目についてはシラバスを通じて学生に周知を行った。

「キャリア・デザイン概論」は平成28年度に閉講したが、その内容をさらに拡充させた「キャリア・デザインⅠ」「キャリア・デザインⅡ」「キャリア・デザインⅢ」を新たに設置していることから、閉講の影響はないと考えられる。新規科目の内容についてはシラバスを通じて学生に周知を行った。「エコロジー・環境論1」「エコロジー・環境論2」「現代社会と数学」「社会の中の数学」は平成29年度に閉講したが、基礎教養科目全体として偏りのない科目を開講していることから、閉講の影響は軽微であると考えられる。履修可能な基礎教養科目についてはシラバスを通じて学生に周知を行った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{6}{198} = \boxed{3.03}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	81,795.68㎡ <del>76,474.54㎡</del> 76,972.07㎡ <del>76,947.46㎡</del> 77,046.05㎡	3,321.53㎡	10,578.03㎡ <del>10,553.23㎡</del>	95,695.24㎡ <del>90,374.10㎡</del> 90,871.63㎡ <del>90,847.02㎡</del> 90,920.81㎡	一部校舎の用途変更、建 替及び空地の再算出に伴 う変更(元)			
	運動場用地	21,716.00㎡	17,588.00㎡	10,609.00㎡ <del>10,263.00㎡</del>	49,913.00㎡ <del>49,567.00㎡</del>	付属施設改修に伴う校舎 敷地変更(30)			
	小 計	103,511.68㎡ <del>98,190.54㎡</del> 98,688.07㎡ <del>98,663.46㎡</del> 98,762.05㎡	20,909.53㎡	21,187.03㎡ <del>20,841.03㎡</del> 20,816.23㎡	145,608.24㎡ <del>140,287.10㎡</del> 140,784.63㎡ <del>140,414.02㎡</del> 140,487.81㎡	付属施設改修に伴う校舎 敷地変更および運動場用 地拡張に伴う変更(29)			
	そ の 他	51,017.83㎡ <del>56,338.97㎡</del> 55,841.44㎡ 55,866.05㎡ 55,628.93㎡	0㎡	8,040.97㎡ 8,386.97㎡ 8,411.77㎡	59,058.80㎡ <del>64,379.94㎡</del> 63,882.41㎡ 64,253.02㎡ 64,040.70㎡	校舎改修に伴う校舎敷地 変更及び女子留学生寮用 途変更に伴う校地変更 (28)			
	合 計	154,529.51㎡ <del>154,390.98㎡</del>	20,909.53㎡	29,228.00㎡	204,667.04㎡ <del>204,528.51㎡</del>				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		92,735.98㎡ <del>93,719.66㎡</del> 93,818.75㎡  (92,735.98㎡ <del>93,719.66㎡</del> 93,818.75㎡)	0㎡	0㎡	92,735.98㎡ <del>93,719.66㎡</del> 93,818.75㎡  (92,735.98㎡ <del>93,719.66㎡</del> 93,818.75㎡)	一部校舎の用途変更に伴 う変更(元)  校舎改修に伴う校舎面 積の減少(28)			
(3) 教 室 等		講 義 室 90室 <del>89室</del> 90室 92室 93室	演 習 室 41室 40室 39室	実験実習室 104室	情報処理学習施設 12室 (補助職員 一人)	語学学習施設 6室 (補助職員 一人)	大学全体 用途変更に伴う講義室数 の変更(元) 講義室を演習室に用途変 更(30) 用途変更に伴う講義室数 の変更(29) 講義室を演習室に改修 (28)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数					
		国際社会科学部		18 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	国際社会科学部	1,218,848 [377,995] <del>(1,178,284 [355,807])</del> <del>(1,178,013 [362,105])</del> <del>(1,173,456 [362,031])</del> <del>(1,160,666 [363,229])</del> <del>(1,164,788 [363,025])</del>	25,612 [17,460] <del>30,828 ([23,360])</del> <del>32,772 ([25,323])</del> <del>(32,510 [24,727])</del> <del>(32,718 [24,980])</del> <del>(25,252 [17,376])</del>	19,531 [19,041] <del>21,729 ([21,623])</del> <del>23,695 ([23,591])</del> <del>(23,534 [23,007])</del> <del>(23,795 [23,274])</del> <del>(17,430 [16,912])</del>	5,450 <del>(5,411)</del> <del>(4,736)</del> <del>(4,705)</del> <del>(4,677)</del> <del>(4,925)</del>	662 ( 662 )	0 ( 0 )	数値は図書・学術雑誌・視聴覚資料数値 は平成27年度統計 (28) 平成28年度統計(29) 平成29年度統計(30) 平成30年度統計(元)	
	計	1,218,848 [377,995] <del>(1,178,284 [355,807])</del> <del>(1,178,013 [362,105])</del> <del>(1,173,456 [362,031])</del> <del>(1,160,666 [363,229])</del> <del>(1,164,788 [363,025])</del>	25,612 [17,460] <del>30,828 ([23,360])</del> <del>32,772 ([25,323])</del> <del>(32,510 [24,727])</del> <del>(32,718 [24,980])</del> <del>(25,252 [17,376])</del>	19,531 [19,041] <del>21,729 ([21,623])</del> <del>23,695 ([23,591])</del> <del>(23,534 [23,007])</del> <del>(23,795 [23,274])</del> <del>(17,430 [16,912])</del>	5,450 <del>(5,411)</del> <del>(4,736)</del> <del>(4,705)</del> <del>(4,677)</del> <del>(4,925)</del>	662 ( 662 )	0 ( 0 )		
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				座席及び書架を増設(28) 座席を増設(30) 法経図書センターの座席 数を再確認(元)	
		12,105.84㎡	1,812 <del>1,686</del> 1,684 <del>1,613</del>	1,899,325 <del>1,858,550</del>					
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
		2,060.93㎡	卓球場、柔剣道場、トレーニングセンター			1,880.16㎡ <del>1,908.54㎡</del>		柔剣道場改修に伴う面 積の減少(28)	
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	11,240千円	0千円	0千円	
	共同研究費等	530千円	2,200千円	設備購入費	37,675千円	0千円	0千円		
	学生1人当り納付金	第1年次 1,435千円	第2年次 1,235千円	第3年次 1,235千円	第4年次 1,235千円	第5年次 千円	第6年次 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	学 習 院 大 学 大 学 院									備 考
	既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
法務研究科法務専攻										
専門職学位課程	3	30	-	90	法務博士 (専門職)	0.63	-	平成16	東京都豊島区 目白一丁目5番1号	
法学研究科法律学専攻										
博士前期課程	2	10	-	20	修士 (法学)	0.05	-	平成28	同上	
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (法学)	0.22	-	昭和61	同上	
政治学研究科政治学専攻										
博士前期課程	2	15	-	30	修士 (政治学)	0.23	-	昭和54	同上	
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (政治学)	0.06	-	昭和56	同上	
経済学研究科経済学専攻										
博士前期課程	2	10	-	20	修士 (経済学)	0.35	-	昭和54	同上	
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (経済学)	0.33	-	平成2	同上	
経営学研究科経営学専攻										
博士前期課程	2	10	-	20	修士 (経営学)	0.75	-	昭和53	同上	
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (経営学)	0.66	-	昭和61	同上	
人文科学研究科哲学専攻										
博士前期課程	2	10	-	20	修士 (哲学)	0.45	-	昭和28	同上	
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (哲学)	0.77	-	昭和40	同上	
美術史学専攻										
博士前期課程	2	10	-	20	修士 (美術史学)	0.75	-	平成20	同上	
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (美術史学)	0.55	-	平成20	同上	
史学専攻										
博士前期課程	2	15	-	30	修士 (史学)	0.83	-	昭和40	同上	
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (史学)	0.55	-	昭和40	同上	
日本語日本文学専攻										
博士前期課程	2	20	-	40	修士 (日本語日本文学)	0.75	-	昭和28	同上	
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (日本語日本文学)	0.55	-	昭和40	同上	
英語英米文学専攻										
博士前期課程	2	10	-	20	修士 (英語英米文学)	0.65	-	昭和32	同上	
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (英語英米文学)	0.22	-	昭和40	同上	
ドイツ語ドイツ文学専攻										
博士前期課程	2	5	-	10	修士 (ドイツ語ドイツ文学)	0.10	-	昭和32	同上	

博士後期課程	3	2	-	6	博士 (ドイツ語ドイツ文学)	0.16	-	昭和40	同上
フランス文学専攻									
博士前期課程	2	5	-	10	修士 (フランス文学)	0.60	-	昭和32	同上
博士後期課程	3	2	-	6	博士 (フランス文学)	0.00	-	昭和40	同上
心理学専攻									
博士前期課程	2	6	-	12	修士 (心理学)	0.00	-	昭和55	同上
博士後期課程	3	2	-	6	博士 (心理学)	0.00	-	昭和57	同上
臨床心理学専攻									
博士前期課程	2	12	-	24	修士 (臨床心理学)	0.87	-	平成21	同上
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (臨床心理学)	1.33	-	平成27	同上
教育学専攻									
博士前期課程	2	20	-	40	修士 (教育学)	0.22	-	平成27	同上
博士後期課程	3	5	-	15	博士 (教育学)	0.66	-	平成27	同上
アーカイブズ学専攻									
博士前期課程	2	15	-	30	修士 (7-カレッジ学)	0.46	-	平成20	同上
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (7-カレッジ学)	0.33	-	平成20	同上
身体表象文化学専攻									
博士前期課程	2	10	-	20	修士 (表象文化学)	0.45	-	平成20	同上
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (表象文化学)	0.33	-	平成20	同上
自然科学研究科物理学専攻									
博士前期課程	2	15	-	30	修士 (理学)	0.56	-	昭和28	同上
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (理学)	0.00	-	昭和36	同上
化学専攻									
博士前期課程	2	15	-	30	修士 (理学)	1.76	-	昭和28	同上
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (理学)	0.33	-	昭和36	同上
数学専攻									
博士前期課程	2	6	-	12	修士 (理学)	0.66	-	昭和42	同上
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (理学)	0.11	-	昭和44	同上
生命科学専攻									
博士前期課程	2	15	-	30	修士 (理学)	0.89	-	平成20	同上
博士後期課程	3	3	-	9	博士 (理学)	0.44	-	平成20	同上
大学院全体	2又は3	325	-	741	-	0.52	-	-	-

大学の名称	学習院大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
法学部						1.02				
法学科	4	250	-	1,000	学士 (法学)	1.02	-	昭和39	東京都豊島区 目白一丁目5番1号	
政治学科	4	230	-	920	学士 (政治学)	1.02	-	昭和24	同上	
経済学部						1.14				
経済学科	4	250	-	1,000	学士 (経済学)	1.13	-	昭和27	同上	
経営学科	4	250	-	1,000	学士 (経営学)	1.14	-	昭和49	同上	
文学部						1.05				
哲学科	4	95	-	380	学士 (哲学)	1.03	-	昭和24	同上	
史学科	4	85	-	340	学士 (史学)	1.09	-	昭和36	同上	
日本語日本文学科	4	110	-	440	学士 (日本語日本文学)	1.03	-	昭和32	同上	
英語英米文化学科	4	115	-	460	学士 (英語英米文化学)	1.04	-	昭和32	同上	
ドイツ語圏文化学科	4	50	-	200	学士 (ドイツ語圏文化学)	1.08	-	昭和32	同上	
フランス語圏文化学科	4	80	-	320	学士 (フランス語圏文化学)	1.04	-	昭和32	同上	
心理学科	4	90	-	360	学士 (心理学)	1.05	-	昭和50	同上	
教育学科	4	50	-	200	学士 (教育学)	1.08	-	平成25	同上	
理学部						1.03				
物理学科	4	48	-	194	学士 (理学)	1.06	-	昭和24	同上	
化学科	4	54	-	212	学士 (理学)	1.01	-	昭和24	同上	
数学科	4	60	-	240	学士 (理学)	1.05	-	昭和38	同上	
生命科学科	4	48	-	194	学士 (理学)	1.01	-	平成21	同上	
国際社会科学部						1.10				
国際社会科学科	4	200	-	800	学士 (社会科学)	1.10	-	平成28	同上	
大学全体	4	2,065	-	8,260	-	1.07	-	-	-	

大学の名称	学習院女子大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
国際文化交流研究科 国際文化交流専攻 修士課程	2	10	-	20	修士 (国際文化交 流)	0.30	-	平成16	東京都新宿区戸山 三丁目20番1号	
大学院全体	2	10	-	20	-	0.30	-	-	-	
大学の名称	学習院女子大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
国際文化交流学部						1.15				
日本文化学科	4	140	3年次 5	570	学士 (日本文化)	1.14	-	平成10	東京都新宿区戸山 三丁目20番1号	
国際コミュニケーション学科	4	170	3年次 5	690	学士 (国際コミュニケー ション)	1.15	-	平成10	同上	
英語コミュニケーション学科	4	45	-	180	学士 (英語コミュニケー ション)	1.21	-	平成18	同上	
大学全体	4	355	10	1,440	-	1.15	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。



「5 教員組織の状況」は、個人情報を含む内容のため、掲載していません。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後 の実施計画
<p>認 可 時  (平成27年)</p>	<p>「海外研修Ⅱ」については海外研修の事後学習としてディスカッションやグループワークを行う科目となっているが、こうした授業方法が効果的に運営できるクラス規模になるかが不明瞭である。本科目は必修科目で、配当年次が複数年にまたがることから、多くの学生の受講が想定されるのに対し、担当教員は2名のみとなっているため、現在の計画で適正なクラス規模になっているかが懸念される。学年進行に沿ってこの点を十分に検証し、必要に応じてクラス数を増やすなどの対応を取ること。</p>	<p>留意事項</p> <p>「海外研修Ⅱ」は、開設年度後期より各学期2クラスずつ開講する。学生の多くは、1年次・2年次の夏季または春季休業中の短期研修後および2年次・3年次後期からの中・長期研修後に、「海外研修Ⅱ」の授業に参加することを想定している。本学部の入学定員は200名で、年間4クラス開講する計画に基づくと、完成年度までの1クラスあたりの平均履修者数は50名と考えられる。1クラス50名程度であれば、ディスカッションやグループワークを実施することが可能であり、現計画で適正なクラス規模を維持できると判断した。</p> <p>なお、履修者数の増加が見込まれる開設2年目以降は、すでに海外研修に参加し、「海外研修Ⅱ」を履修した学生をStudent Assistant (SA) として採用する予定である。ディスカッションやグループワークの補助を通じて、自らの経験を下級生と共有することにより、教育的効果を高め、円滑な授業運営ができるよう対応する。</p>	<p>履行済</p>
	<p>一般的な「課題解決型学習」においては、課題解決の手法を学ぶ前提として課題発見のプロセスを学ぶことが重要であると考えられる。本学の「課題解決」に関する説明においては、そのような点に関する言及がないため、本学において取り扱う「課題解決」の趣旨を再度検討し、必要であれば課題発見のプロセスについても取り扱うよう教育課程を修正すること。</p>	<p>課題発見の育成プロセスに関しては、1年次の必修科目である「入門演習Ⅰ」および「入門演習Ⅱ」、3年次以降の選択必修科目である「専門演習Ⅰ」、「専門演習Ⅱ」および「卒業論文・卒業演習」の科目を通じて学生を教育する。課題発見力の育成には、次の過程を経るものとする。まず、国際社会の様々な問題の背景にある要因を社会科学の理論を通じて「仮説」の提示という形で課題を発見する能力を養う。そして、関連の社会科学分野における既存の研究を批判的に調べ、まだ解明されていない「課題」はいかなるものかについて発見する能力を養う。それぞれの「課題発見力」の教育方法について、以下のプロセスを用いて実施することとする。</p> <p>第1の課題発見のプロセスでは、社会科学の理論による仮説の設定の重要性を</p>	

		<p>指導する。自分の検討したい社会的な課題に対して、仮説なしにデータ分析のみを実施しても、表面的な相関関係を観察することに留まり、様々な社会問題の背景にある重要な要因を特定できず、間違った課題を発見する可能性が高い。そこで「入門演習Ⅰ」および「入門演習Ⅱ」においては、「課題発見」のプロセスとして、今日の国際社会が直面している課題に対し、仮説の立て方を実践する。そして、仮説に基づき、統計を使用して原因と結果の因果関係を発見する手法を学ぶ。この手法は、3年次以降の「専門演習Ⅰ」、「専門演習Ⅱ」、「卒業論文・卒業演習」において、学生が自ら国際社会の課題について分析する際にも活用されていくこととなる。</p> <p>第2の課題発見のプロセスでは、既存の研究を批判的に読み込み、まだ十分に解明されていない課題について今後明らかにすべき対象を発見する能力を養う。現在の国際的な社会問題に関して、多くの場合は社会科学の手法を使用してその決定要因に関する分析が既に行われている。一方で、社会科学の理論の進化、あるいは社会の変化に伴う新しい理論的な手法の開発や統計的な分析手法の進化により、過去の分析には欠点や課題が残されている。そこで過去の重要な論文等における分析を批判的に検討することで、どのような分析上の課題が残されているかを学習する能力を養う。このプロセスは、1年次の「入門演習Ⅰ」および「入門演習Ⅱ」においては、その重要性を認識させ、3年次以降の「専門演習Ⅰ」、「専門演習Ⅱ」、「卒業論文・卒業演習」においては、実際の既存研究の批判的検討を実施する。</p> <p>このように、すでに課題発見のプロセスは設置計画の段階で十分に練られており、教育課程の修正は必要ないと判断した。</p>	
--	--	---	--

留意事項

履行済

設置計画履行状況 調査時 (平成28年)	該当なし			
設置計画履行状況 調査時 (平成29年)	該当なし			
設置計画履行状況 調査時 (平成30年)	該当なし			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <国際社会科学部 国際社会科学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>FD活動を推進する全学的な組織として、「FD推進委員会」が設置されている。主に学部学生を対象として、授業評価アンケート実施及びその報告書を作成し、教員の資質向上に資している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>全学組織であるFD推進委員会は、平成30年度には3回開催し、全学部および法務研究科、外国語教育研究センター、計算機センター、スポーツ・健康科学センター、教職課程、学芸員課程の教員が参加し、FDについての検討を行った。平成28年度から国際社会科学部教員もメンバーとなった。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>全学組織であるFD推進委員会では、授業評価アンケートの内容の検討、実施方法の検討、結果についての検討と報告書の作成、結果公開の方法と範囲、全学FD研究会の企画と実施、全学的なFD活動の企画と推進方策等について審議している。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>(1) 授業評価アンケートの実施 授業評価アンケートは、全学部のほぼすべての授業（非常勤講師の授業を含む）に対して、前期と後期の2回行われている。国際社会科学科も、平成28年度からFD推進委員会主催の授業評価アンケートを実施している。</p> <p>(2) 全学的な授業評価アンケートの結果に基づくFD研究会 平成30年度は、前年度の授業評価アンケートの結果に基づいて、評価の高かった授業を行っている教員1名の授業を他教員が参観し、その内容に基づいて授業改善のための創意工夫に係る研究会を全学的に開催した。</p> <p>(3) 全学FD講演会の実施 平成30年度は、外部・内部の講師により計5回の講演会、ワークショップを実施した。内容は、大学の認証評価制度、外国語による教授法、高大接続、ハラスメント対応と多岐に亘った。</p> <p>(4) 授業研究の実施 国際社会科学科では、平成30年度に社会科学担当の専任教員により主に専門演習、卒業論文・卒業演習の準備について、英語教員（非常勤講師を含む）により英語科目の評価方法、英文添削、テキスト選定等について、年間を通じて各々授業研究を実施した。</p> <p>b 実施方法</p> <p>(1) 授業評価アンケート 学部のほぼすべての授業に対して、前期と後期の学期末に行っている。</p> <p>(2) 全学的な授業評価アンケートの結果に基づく授業見学・聴講及びFD研究会 平成30年6月下旬～7月上旬に実施した。</p> <p>(3) 全学FD講演会 外部講師・学内講師による講演、参加型ワークショップ、講師と参加者（他大学教員を含む）との意見交換により実施した。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>(1) 授業評価アンケート 年に2回、学部のほぼすべての授業に対して行っている。</p> <p>(2) 全学的な授業評価アンケートの結果に基づく授業見学・聴講及びFD研究会 平成30年度は教員1名の授業参観を1回、講演・討論会を1回開催し、授業見学には25名、討論会には32名の教職員が参加した。</p> <p>(3) 全学FD講演会 5回の講演会及びワークショップにのべ172名の教職員が参加した（本学参加者のみ）。</p>
---

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業評価アンケートの結果は、毎年3月にFD推進委員会から全教員宛に結果が送付され、授業改善に活用されている。また、各学部のFD委員が自学部の授業評価アンケートの結果を分析し、報告書にまとめている。報告書は大学ホームページで公開されると共に、学部および大学院の教授会・研究科委員会等で報告・共有されている。FD研究会及びFD研修会については、学部長会議において開催通知及び実施報告がなされ、全学的に事前及び事後周知が行われている。配付資料等についても、共有がなされている。

③ 学生に対する授業アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

学部のほぼすべての授業を対象に、前期と後期の2回、それぞれ7月と12月に実施されている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの結果とその検討結果、および結果を踏まえての改善方針はFD推進委員会によって報告書の形でまとめられ、ウェブ上で公開され、学内外（学生含む）からの閲覧が可能になっている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 平成28年度4月に開設し教育を開始した。授業活動・研究活動などは今後継続して展開されるため総合的な評価はできないものの、一般入試の志願者が初年度2,183名、2年目2,412名、3年目2,114名、4年目2,145名だったことから、一定の社会的評価を受けたと判断している。本学部の専門科目、専任教員等に関しては申請時と同様であり正しく履行されており、順調に開設されたと評価している。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期 ・平成28年3月24日 公表</p> <p>b 公表方法 ・大学ホームページ上に公開した。</p> <p>③ 認証評価を受ける計画 ・平成27年度に認証評価機関（公益財団法人 大学基準協会）の評価を受け、協会が定める大学基準に適合していると認定された。次回の認証評価は令和4年度に受審する予定である。</p>
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）</p> <p>a ホームページへの公表予定の有無 （ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ）</p> <p>b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 7月 1日 ）</p> <p>b 公表無の場合の特段の理由 （ ）</p>
---

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

改正 平成21年4月1日  
平成24年4月1日

平成22年4月1日

(設置)

第1条 本学に、学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(定義)

第2条 本学において、ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）とは、本学で提供される授業に関する技量及び教育効果を高めるための組織的かつ継続的な取り組みを行うこと等を通して教育の内容及び方法の改善を図ることをいう。

(目的と任務)

第3条 委員会は、学長の諮問に基づき、全学的立場でFDを推進することを目的とする。

2 委員会は、前項の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項をその任務とする。

- 一 FDの基本方針に関する事項
- 二 FDに係る情報収集、FDに係る広報、FDに係る講演会及び研修会、その他の全学として行うFD事業の企画及び実施に関する事項
- 三 各学部、専門職大学院各研究科、スポーツ・健康科学センター、計算機センター、外国語教育研究センター、教職課程及び学芸員課程が行うFDの連絡調整に関する事項
- 四 FDに係る予算、設備等に関する原案作成に関する事項
- 五 その他FDに関する重要事項

3 委員会で審議したFDの取組みのうち、各学部、専門職大学院各研究科、スポーツ・健康科学センター、計算機センター、外国語教育研究センター、教職課程及び学芸員課程において共通に行うべきFDの最低限の取組みについては、学部長会議及び専門職大学院研究科長会議並びに各学部教授会及び専門職大学院各研究科教授会の議を経て実施するものとする。

(構成)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成し、学長が委嘱する。

- 一 学長が指名する副学長1名
- 二 学生センター所長
- 三 学長室部長
- 四 各学部、専門職大学院各研究科、スポーツ・健康科学センター、計算機センター、外国語教育研究センター、教職課程及び学芸員課程委員会から選出された専任教員各1名
- 五 その他学長が指名する教職員

(任期)

第5条 前条第4号及び第5号に掲げる委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前項に掲げる委員に、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第6条 委員会に委員長を置き、学長が委員の中から委員長を指名する。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代行する。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員長は、必要と認めるとき、委員会の承認を得て委員以外の者の出席を求めその意見を聴くことができる。

(専門委員会)

第8条 委員会に、必要に応じて専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。



(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員会が定める。

(改正)

第10条 この規程の改正は、委員会の発議に基づき、学部長会議及び専門職大学院研究科長会議の議を経て、大学協議会の議により、学長が行う。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。